
令和6年度当初予算案の概要

福岡市財政局



目次

I 政策の推進	・ ・ ・ 1
1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち	
2 魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち	
3 主要事業	
II 将来にわたり持続可能な財政運営の推進	・ ・ ・ 7
1 財源の確保	
2 アセットマネジメントの推進	
3 財政調整基金の活用と残高の確保	
4 市債残高の状況	
III 予算案の姿（概要）	・ ・ ・ 14

I 政策の推進

予算のコンセプト

強くてやさしい福岡

都市経営の基本戦略である「都市の成長と生活の質の向上の好循環」をより力強いものとするため、成長の果実を活かし、子どもや子育て世代をはじめとした様々な分野において、やさしく、きめ細かな施策を積極的に実施。

1 次世代をはぐくみ、誰もが元気に暮らすまち

⇒ 「福岡市型」こども誰でも通園制度の実施、第2子以降の保育料無償化を拡充、保育士の人材確保を強化、学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援、産後のヘルパー派遣を拡充、産後ケアの利用料を軽減、市立児童発達支援センターでの一時預かりを開始、障がい児等の保育支援の充実、教育支援センターの全区展開、「福岡100」の推進、ユマニチュードによるみんなにやさしいまち、ぬくもりのある区役所窓口

2 魅力にあふれ、国内外から選ばれ成長するまち

⇒ ふるさと納税を活用したソーシャルスタートアップ成長支援、天神ビッグバンなど都心部のエリアプロモーション、広域連携による観光誘客の推進、福岡城・鴻臚館における観光振興、博多旧市街の整備やブランディング実施、福岡アジア美術館の魅力向上、水素リーダー都市プロジェクト、福岡市地下鉄の車両更新・増備、災害に強いまちづくり、南区における地域交流センターの検討、次代へつなぐ地産地消の推進

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

安心して生み育てられる環境づくり

全ての子育て家庭への支援

- ★「福岡市型」こども誰でも通園制度の実施
 国上限の4倍の最大月40時間の預かりを実施、
 あわせて、利用人数・実施園等を大幅に拡充 4億8,511万円 (こども)
- ☆第2子以降の保育料無償化を拡充
 幼稚園のプレ通園を利用する当該年度に満3歳を
 迎える2歳児を無償化の対象に追加 24億1,382万円 (こども)
- ☆保育士の人材確保を強化
 潜在保育士の再就職支援の拡充、及び
 家賃・奨学金支援等の市独自事業を引き続き実施 6億1,159万円 (こども)
- ☆ベビーシッター派遣の拡充
 生後2か月から4か月になるまでの
 ベビーシッター派遣費用の助成要件を緩和 539万円 (こども)
- ★身近な子育て相談窓口の設置
 公立保育所や子どもプラザなど、
 身近な地域で子育て相談を実施 1,876万円 (こども)
- ☆学校・保育所等の給食費物価高騰分を支援
 15億7,784万円 (こども・教委)

多胎児世帯への支援

- ☆産後のヘルパー派遣を拡充
 従来の利用回数40回に加え、
 外出を支援するための20回分を追加 9,168万円 (こども)
- ☆産後ケアの利用料を軽減
 多胎児の2人目以降に係る利用料を無償化 1億3,993万円 (こども)

サポートを必要とする子どもたちのために

障がいのある子どもの支援

- ★市立児童発達支援センターでの一時預かりを開始
 児童発達支援センターで、
 療育終了後の一時預かりを実施 7,467万円 (こども)
- ★市立児童発達支援センターの送迎モデル事業を開始
 送迎バス等への看護師同乗により、
 医療的ケアが必要な児童の送迎を支援 994万円 (こども)
- ☆障がい児等の保育支援の充実
 特別な支援が必要な児童が入所する保育所への
 保育士雇用費助成額を拡充 12億683万円 (こども)
- ☆特別支援学校高等部の新設
 就労支援に特化した特別支援学校高等部を
 東エリアに新設(R7年4月開校) 2億7,244万円 (教委)
- ☆スクールバス乗車対象生徒の拡充
 特別支援学校のスクールバスについて、
 自力通学ができない児童生徒全員を乗車可能に 8億3,714万円 (教委)
- ☆小学5年生～中学3年生の習い事を応援
 生活保護又は児童扶養手当世帯への助成、
 助成額の上限を子ども一人当たり月額1万円から
 年額12万円に見直し、より利用しやすい制度へ 3億9,942万円 (こども)
- ★学びの多様化学校(不登校特例校)の整備
 中学生を対象とした学びの多様化学校を新設
 (R7年4月開校) 9,464万円 (教委)
- ☆教育支援センター(校外適応指導教室)の全区展開
 学校に行きづらい小中学生を対象とした
 教育支援センターを全区に増設(4か所→7か所) 1,227万円 (教委)

何歳でもチャレンジできるまち

★人生100年時代に向けた「福岡100」を推進

市民が主役の「福岡100フェス」や企業等との共創の場「福岡100ラボ」の運営など、産学官民オール福岡で推進

福岡100

3,322万円 (福祉)

ユマニチュードによるみんなにやさしいまち

★ユマニチュードのさらなる普及促進

市民・地域・事業者への更なる普及促進、障がい者施設等への展開等

6,118万円 (福祉)

★認知症フレンドリーシティ拠点の機能強化

若年性認知症コーディネーターを新たに配置するなど、認知症フレンドリーセンターの機能を強化

9,015万円 (福祉)

★高齢者乗車券の利便性向上

高齢者の社会参加促進のための交通費の一部助成、タクシー助成券の使用枚数の見直し

20億2,934万円 (福祉)

★老人福祉センターの機能強化

社会参加の拠点として機能を強化するため、コーディネーター配置等の試行、施設改修等を実施

1億5,879万円 (福祉)

★介護人材確保に向けたDXの推進・経営力の強化

介護ロボット導入支援のほか、ICTツールのモデル導入、経営コンサルタント派遣により、経営力の強化等を支援

6,054万円 (福祉)

★予防に重点を置いて全世代の歯と口腔の健康を守る

ワンコイン歯科健診の対象に、25歳・30歳を追加、簡易キットによる歯科健診を市内企業向けにモデル実施

4,419万円 (保医)

★まち中で自然と体を動かす「Fitness Cityプロジェクト」

自然と楽しく体を動かしたくなる仕掛けを展開

1億6,503万円 (保医・住都・道下)

子どもたちの学びの充実のために

★多様な支援スタッフの充実

部活動指導員やスクール・サポート・スタッフ等の配置充実により、教員が子どもと向き合う環境づくりを推進

17億4,385万円 (教委)

★学校施設の建替え推進

経年により老朽化した校舎等の建替えを順次実施し、教育環境を改善

2億2,667万円 (教委)

誰もが安心して暮らしやすいまち

★誰もが自分らしく遊べるインクルーシブな子ども広場整備

R7年度までの各区1か所整備に向け、R6年度は新たに3か所の整備に着手(西南杜の湖畔公園・桧原運動公園・東平尾公園)

9億5,494万円 (住都)

★在宅人工呼吸器使用者の非常用電源整備

24時間在宅人工呼吸器使用者に対して、災害時に備えた非常用電源購入費を助成

390万円 (保医)

★街頭防犯カメラの設置促進

自治会等が設置する街頭防犯カメラへの助成台数増加、未設置校区等において、助成までの期間を短縮

6,477万円 (市民)

★熱中症対策の強化

特別警戒アラート発表時に、冷房設備のある施設等を「クーリングシェルター」として一般に開放

2,476万円 (環境)

★花粉発生源対策の推進

花粉発生源であるスギ・ヒノキ林の伐採や地域産材の利用拡大等を推進



2億4,158万円 (農水)

★ぬくもりのある区役所窓口

福祉、外国人、ご遺族の専用窓口を設置・充実する等、各区役所の窓口機能を強化

1,306万円 (各区)

多様な人材や企業が集まるまち

世界と繋がるスタートアップのまち

★ふるさと納税を活用したソーシャルスタートアップ成長支援

ふるさと納税を活用し、社会課題解決を目指す
スタートアップの経営基盤強化にかかる取組みを支援 3,143万円 (経観文)

fgn.

☆スタートアップ支援施設の運営

スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next」を
拠点に、創業から成長まで一気通貫で支援 4億2,623万円 (経観文)

☆IPO等に向けた成長を支援

新規上場を目指すスタートアップ企業に対して
経験豊富な人材を活用して経営課題解決等を支援 2,840万円 (経観文)

☆天神ビッグバンなど都心部のエリアプロモーション

先進的なビルの開業のタイミングを捉え、
企業誘致と連動したプロモーションを実施 3,309万円 (住都)

天神未来創造

天神ビッグバン

☆外資系金融機関等の拠点設立推進

外資系金融機関等の拠点設立へ向けた
都市ポテンシャル等のPRや設立サポートを実施 5,372万円 (経観文)

高質な観光・MICEで賑わい、潤うまち

西のゴールデンルート

☆広域連携による観光誘客の推進

付加価値の高い旅行を推進するため、西日本・九州の
自治体等と連携した西のゴールデンルートPR等の実施 8,857万円 (経観文)

☆福岡城・鴻臚館における観光振興

誘客に向けた福岡城幻の天守閣ライトアップ、
鴻臚館の東門等の復元に向けた設計等の実施 2億1,563万円 (経観文)

☆博多旧市街の整備やブランディング実施

観光拠点の検討、歴史・文化に配慮した
趣ある道づくり、ブランディングの実施 2億9,091万円 (経観文・道下)

博多旧市街
HAKATA OLD TOWN

☆都心の水辺の憩いと回遊拠点づくり

Park-PFIによる清流公園の整備
那珂川沿いの護岸のライトアップ 6億1,218万円 (住都)

RIVER
FRONT
NEXT

☆海辺を活かした観光振興

北崎エリアの立ち寄りスポットづくり
志賀島、北崎エリアの道づくり 9億4,177万円 (経観文・道下)

FUKUOKA
EAST &
WEST
COAST

憩いと潤いを感じられるまち

★一人一花運動の展開

「花で共創のまちづくり」の定着に向けて、
植物園の改修とあわせて花の祭典などを展開 5,280万円 (住都)



都心の森1万本プロジェクト

緑豊かなまちづくりに向けて
市民や企業との共働により全市域で植樹運動を展開 1億1,300万円 (住都)



★新たな運動公園の整備

早良区南部にソフトボール等に利用できる
多目的グラウンドを整備 2,258万円 (住都)

アイランドシティはばたき公園の整備

アイランドシティはばたき公園に芝生広場・園路を整備
R6年4月 部分供用開始(野鳥観察の丘) 2億3,474万円 (港空)

新たな価値を生み出すまち

Fukuoka Art Next

FaN

Fukuoka Art Next

☆アートのまちづくりの推進

アートのある暮らしとアートスタートアップを推進する
Fukuoka Art Next事業を実施

2億810万円（経観文）

★子どもたちがアートを体験する機会の創出

小学校への貸切バス代等の助成により美術館等での対話
型アート鑑賞体験を推進するほか、ワークショップを実施

3,370万円（経観文）

★バーチャルミュージアムの構築

アジア美術館の展示空間をインターネット上で
鑑賞できる仕組みを構築

868万円（経観文）

★福岡アジア美術館の魅力向上

コレクションの展示機能強化のため、
警固公園地下への施設拡充に向けて調査検討

7,052万円（経観文）

☆市民会館の再整備

新たな文化施設が令和7年3月開館

21億3,185万円（経観文）

博物館のリニューアル

収蔵庫棟の増築及び南側広場の整備に関する
実施設計等の実施

15億4,801万円（経観文）

FUKUOKA Smart EAST



九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくり

土地区画整理事業や周辺道路等の基盤整備、
優先交渉権者や関係者との協議・調整等の実施

33億6,811万円（住都・道下）

☆まちづくりへの水素実装

九州大学箱崎キャンパス跡地における水素供給
パイプラインの整備や水素ステーションの検討等

2億5,826万円（経観文）

カーボンニュートラルの推進

水素リーダー都市プロジェクト

☆水素ステーションの運営等

官民連携による下水バイオガス由来の水素ステーション
運営、営業日を週4日から6日に拡大

8,559万円（経観文）

☆水素自動車(FCモビリティ)の導入を促進

Moving eやFC給食配送車を活用した水素の普及啓発、1億5,157万円
FCゴミ収集車の追加導入、FC救急車の実証等

(経観文・環境・消防)

☆次世代自動車の普及に向けた支援

電気自動車・燃料電池自動車等購入や
充電設備(急速・普通)設置に対する助成等

1億5,607万円（環境）

★金融機関と連携したカーボンニュートラル経営の促進

金融機関が取り扱うCO2排出削減を目的とした融資に
係る経費への支援等

947万円（環境）

★食品廃棄物の削減に向けたモデル事業の実施

食品廃棄物削減のため、モデル小学校において
学校給食残さの堆肥化やメタン化等を試行的に実施

381万円（環境）

☆プラスチックごみの分別回収に向けたモデル事業の実施

モデル地区において戸別収集を実施、
あわせて可燃用指定袋の小袋化・ばら売りを試行実施

7,965万円（環境）

交通機能の強化

☆福岡市地下鉄の車両更新・増備

空港線・箱崎線の車両を新型に更新(R6～9で
18編成)、七隈線の車両を増備(R8・9で4編成)等

41億6,444万円（交通）

☆福岡空港滑走路の増設完了

R6年度末供用開始

9億3,585万円（港空）

主要事業

★:新規 ☆:拡充

災害に強いまちづくり

- ★アイランドシティに消防出張所を新設**
 アイランドシティや周辺地域における消防・救急需要に的確に対応するために、消防出張所を新設(R8供用) 2億9,353万円 (消防)
- ★救急隊の増隊**
 救急需要の増加に的確に対応するため、城南消防署に救急隊を増隊 6,803万円 (消防)
- ☆公的備蓄の拡充**
 能登半島地震の状況を踏まえ、簡易トイレ等の備蓄品をアップデート 6,636万円 (市民)
- ★防災倉庫等の整備**
 旧東市民センターの一部を活用し、災害時の物資集積スペース及び防災倉庫を整備(R7整備予定) 1億4,813万円 (市民)
- ☆給水車の追加配備**
 応急給水体制強化のために、給水車を4台から6台に増強 5,000万円 (水道)
- ★防災アプリの機能強化と利用促進**
 防災アプリ「ツナガル+」の機能強化と利用促進キャンペーンの実施 3,605万円 (市民)
- ☆民間建築物の耐震化促進**
 従来の助成に加え、住宅の耐震改修への助成を拡充 1億1,786万円 (住都)
- ☆公共施設の耐震化推進**
 緊急輸送道路における橋りょうの耐震補強工事、水道管路の耐震管への更新 96億5,958万円 (道下・水道)
- ★災害時保健医療体制(DHEAT派遣)の構築**
 災害時の保健医療に係る訓練、災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の派遣体制整備 322万円 (保医)

コミュニティ施設の充実

- ★南区における地域交流センターの検討**
 南区における地域交流センターの整備に向けた基本構想の検討 561万円 (市民)
- ★中央市民センターのリニューアル**
 施設の長寿命化、防災機能の強化やバリアフリー化などの改修に係る設計 1億677万円 (市民)

農林水産業の振興

- ★次代へつなぐ地産地消の推進**
 魅力ある市内産農水産物を学校給食に提供し、地産地消を推進 1億1,063万円 (農水)
- ★市内産農産物消費拡大の推進**
 市内産農産物の消費拡大に向け、シェフやバイヤーへの生産地ビジネスツアー・商談会を実施 896万円 (農水)
- ★有機農業の推進**
 農業者が有機農業にチャレンジしていくための環境整備 465万円 (農水)

地場企業・商店街・働く人を応援するまち

- 商店街プレミアム付商品券の発行を支援**
 福岡商工会議所が実施する商店街プレミアム付商品券の発行を支援 1億425万円 (経観文)
- ★福岡発カーボンゼロ商品創出の支援**
 専門家派遣等、カーボンゼロ商品創出に向けた支援 900万円 (経観文)

物価高騰対策(国施策)

低所得世帯や納税額が定額減税に満たない世帯へ物価高騰緊急支援給付金を支給

159億5,374万円 (福祉)

Ⅱ 将来にわたり持続可能な財政運営の推進

1 財源の確保

令和3年6月に策定した「財政運営プラン」の取組みの方向性を踏まえ、市民生活に必要な行政サービスを安定的に提供しつつ、重要施策の推進や新たな課題への対応に必要な財源を確保するため、「歳入の積極的な確保」や「使用料等における受益者負担の適正化」などの取組みを進めることとし、令和6年度当初予算においては約45億円の財源を確保しました。

財源確保総額 45億円

(単位：億円)

歳入の積極的な確保

41

① 市税及び税外債権の確保

17

市税収入率の向上 [R5 98.61% → R6 98.78%] 6

宿泊税収入の増
など 10

② その他歳入の確保

24

ふるさと納税寄付の確保 10

未利用地等の売却・貸付
など 13

(単位：億円)

使用料等における受益者負担の適正化など

3

道路占用料の改定 2

公園占用料の改定 0.5

電気自動車用充電設備の利用料
など 0.1

施設の維持管理コストの縮減など

1

道路直営灯・公園照明灯のLED化による電気料削減
など 0.1

2 アセットマネジメントの推進

市民が市有施設を安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくため、「福岡市アセットマネジメント基本方針」に基づき、**財政負担の軽減・平準化を図りつつ、施設の状態等に応じた適切な維持管理を推進**します。

アセットマネジメントの推進にあたっては、計画的に施設の改修・修繕等を実施することで、安全性や利用者満足度を確保しつつ、施設を長寿命化するなど、長期的な観点から施設に要する費用の縮減を図ります。

(1) アセットマネジメント事業費（予算額）の推移

(単位：億円)

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	前年度比 (令和6年度－令和5年度)	令和2年度比 (令和6年度－令和2年度)
一般会計	600	633	652	720	765	+45 (+6%)	+165 (+27%)
全会計	1,099	1,184	1,203	1,234	1,384	+150 (+12%)	+285 (+26%)

※国予算関連の2月補正予算における前倒しを含む ※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある

(2) 令和6年度の主な取組み（一般会計のうち規模の大きなもの）

①施設の長寿命化・機能維持

施設を目標耐用年数まで使用するために必要な設備などの改修や施設の性能を継続的に維持するために行う修繕等

- ・ **学校の校舎等の長寿命化改良【43億3,797万円※】(教委)**
学校施設長寿命化計画に基づく学校の外壁や設備等の改修（17校）
- ・ **市営住宅の長寿命化【21億1,669万円】(住都)**
市営住宅ストック総合活用計画に基づく住宅の外壁や屋上防水の改修
- ・ **スポーツ施設改修【17億706万円】(市民)**
東体育館、早良市民プール等の改修
- ・ **区役所庁舎改修【11億9,587万円】(市民)**
城南区役所のZEB化改修工事等
- ・ **河川施設の護岸工事等【13億4,923万円】(道下)**
弁天川護岸改修等
- ・ **道路大規模修繕【8億7,777万円】(道下)**
道路アセットマネジメント基本方針に基づいて道路の健全性を保つための修繕等
- ・ **橋梁の長寿命化【7億6,860万円】(道下)**
橋梁長寿命化修繕計画に基づいて橋梁の健全性を保つための修繕等

※令和6年2月補正予算における前倒しを含む

②施設の機能充実・向上

社会情勢や市民ニーズに応じた機能充実及び安全性向上のために行う改修等

- ・ **学校の校舎及び附帯施設等整備【102億8,277万円※】(教委)**
学校の便所改造（洋式化）及び外柵改良等
- ・ **市営住宅の改善【16億1,377万円】(住都)**
ユニバーサルデザインの推進やエレベーターの改修等
- ・ **博物館リニューアル改修【15億4,801万円】(経済)**
博物館収蔵庫棟増築工事等

③施設の建替・更新

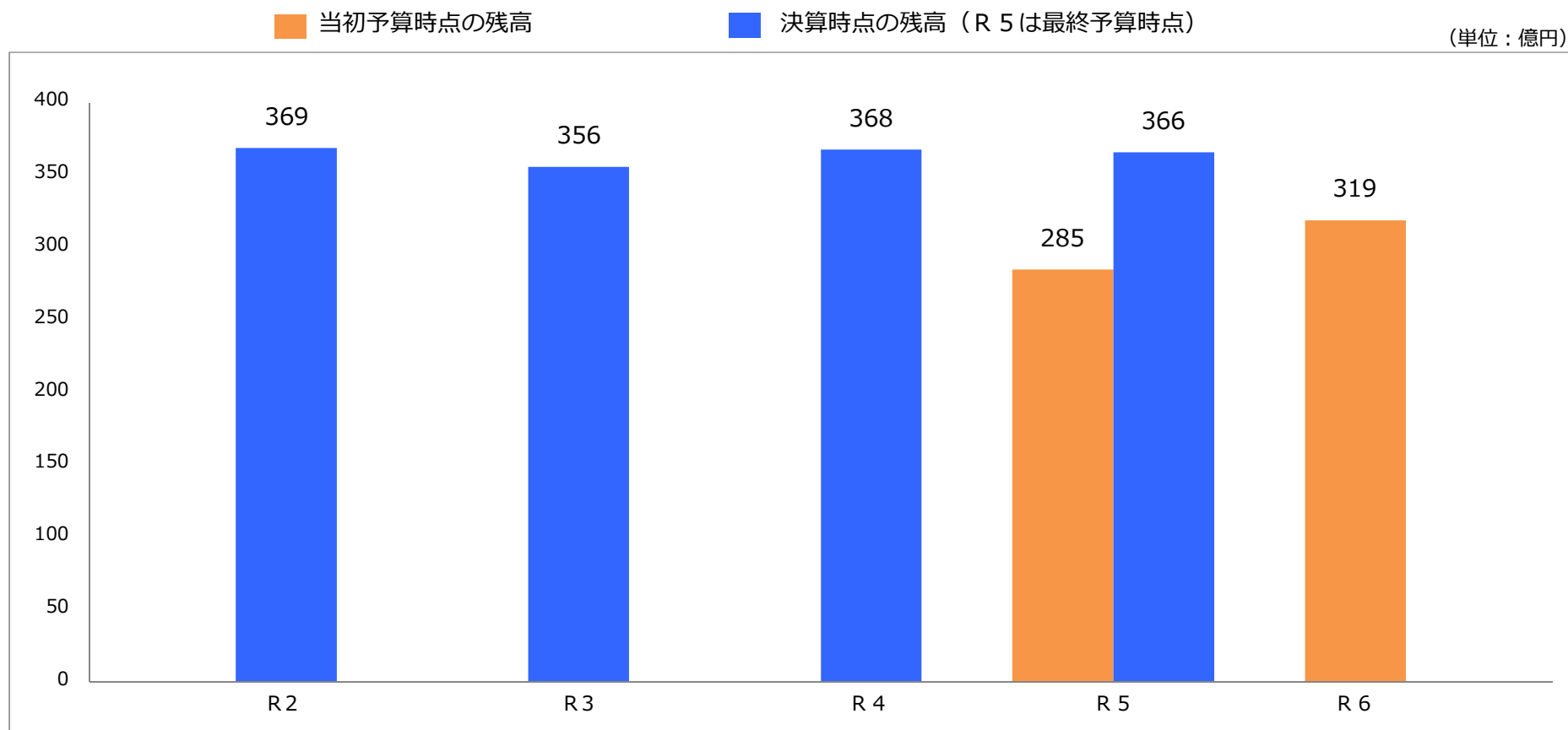
施設の設置目的や役割を十分果たすために必要な建替・更新

- ・ **市営住宅の建替【51億9,943万円】(住都)**
老朽化した市営住宅の建替（城浜住宅など）
- ・ **放課後児童クラブ施設増改築【7億5,438万円】(教委)**
放課後児童クラブ施設の増改築（6校）
- ・ **公園再整備【19億1,278万円】(住都)**
公園再整備計画に基づく公園の整備（31公園）

3 財政調整基金の活用と残高の確保

- ・ 社会情勢の変化や新たな課題への対応、重点事業をはじめ特に取組みを強化すべき施策・事業の推進のための財源を確保するため、令和6年度当初予算においても財政調整基金を活用します。
〔当初予算編成時の取り崩し額 R6：50億円、R5：50億円、R4：73億円、R3：101億円、R2：55億円〕
- ・ 一方で、今後、大規模災害等が発生した場合に、迅速に対応できるよう、6年度末見込において319億円の残高を確保しています。

<財政調整基金の残高の推移>



4 市債残高の状況

(1) 市債発行額の見込み

① 市債発行額（一般会計）

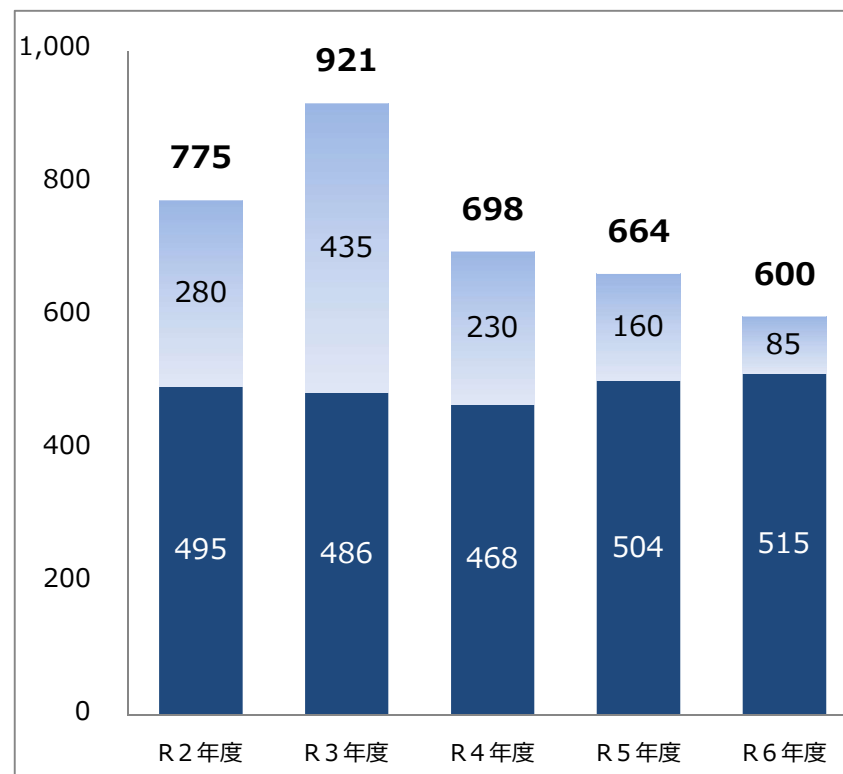
- ・ 臨時財政対策債の減（▲75億円）に伴い、市債発行額は減少（▲64億円）

	令和5年度	令和6年度	増減額
市債発行額	664億円	600億円	▲ 64 億円
うち通常債	504億円	515億円	11 億円
うち臨時財政対策債	160億円	85億円	▲ 75 億円

② 市債発行額（一般会計）の推移

市債発行額の推移（一般会計・当初予算額）

■ その他の市債 ■ 臨時財政対策債
(単位：億円)



(2) 市債残高の縮減

① 令和6年度末市債残高の状況

- ・ 一般会計は令和5年度末と比べ縮減 (▲253億円)
- ・ 全会計でも令和5年度末と比べ縮減 (▲594億円)
- ・ 全会計でピーク時より7,689億円縮減 (▲29.7%)

(単位：億円)

	H16年度 年度末残高	R5年度	R6年度		年度末残高 (B)	差引き (B) - (A)
		年度末残高 (A)	新規発行	市債償還		
一般会計	12,928	11,257	600	▲ 853	11,003	▲ 253
全会計	25,882	18,787	966	▲ 1,560	18,193	▲ 594

※億円未満を四捨五入しており計算が一致しない場合がある。

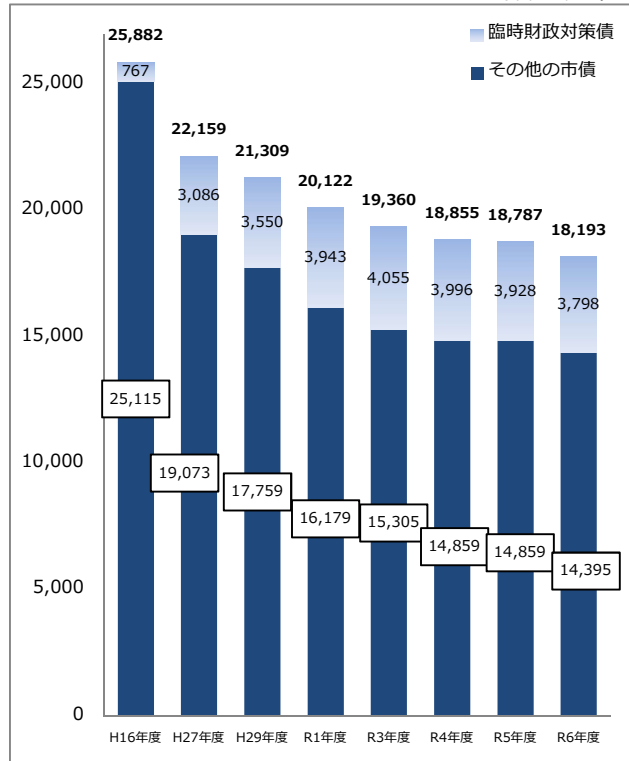
※満期一括積立金（満期一括償還のために既に償還財源を市債管理基金に積み立てたもの）を含まない。

②市債残高の推移

令和6年度末の全会計市債残高見込額から、国が償還額の全額を地方交付税措置する臨時財政対策債の残高見込額を除いた額は、ピーク時の平成16年度末から1兆720億円減少し、1兆4,395億円となります。また、その市民一人当たり市債残高見込額は、平成16年度末から95万円減少し、残高ピーク時の半分を下回りました。(90万円)

市債残高の推移（全会計）

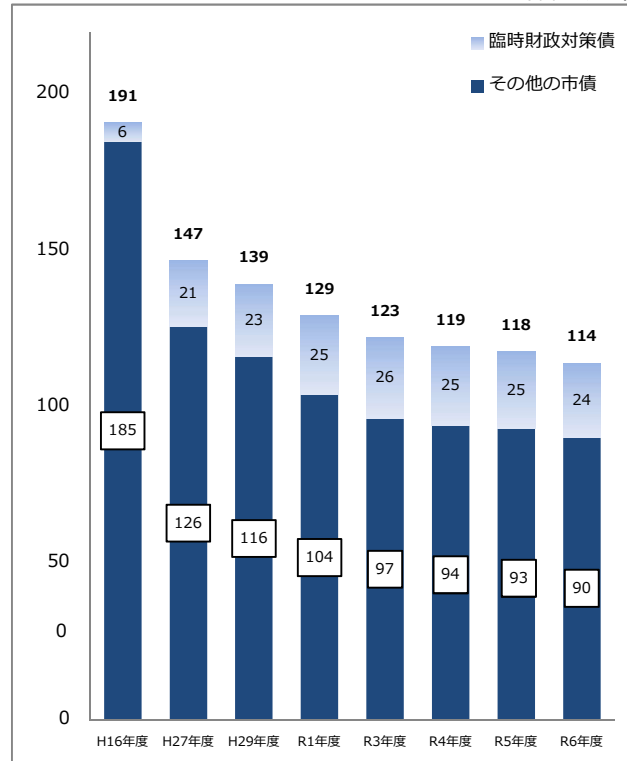
(単位：億円)



※令和4年度までは決算ベース，令和5年度は2月補正後(繰越明許費の反映なし)，令和6年度は当初予算ベース
 ※満期一括積立金を除く

市民一人当たり市債残高の推移（全会計）

(単位：万円)



※令和4年度までは決算ベース，令和5年度は2月補正後(繰越明許費の反映なし)，令和6年度は当初予算ベース
 ※令和4年度までは各年度末現在，令和5年度・6年度は令和5年12月末現在の登録人口
 ※満期一括積立金を除く

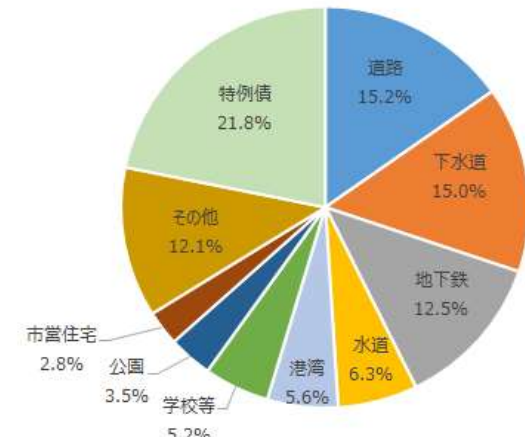
令和6年度末残高の見込み

- 一般会計
1兆1,003億円 (▲ 253億円)
- 特別会計
1,157億円 (▲ 152億円)
- 企業会計
6,033億円 (▲ 189億円)
- ◇ 全会計
1兆8,193億円 (▲ 594億円)

※ () は令和5年度末残高見込みとの差

※ 満期一括積立金を除く

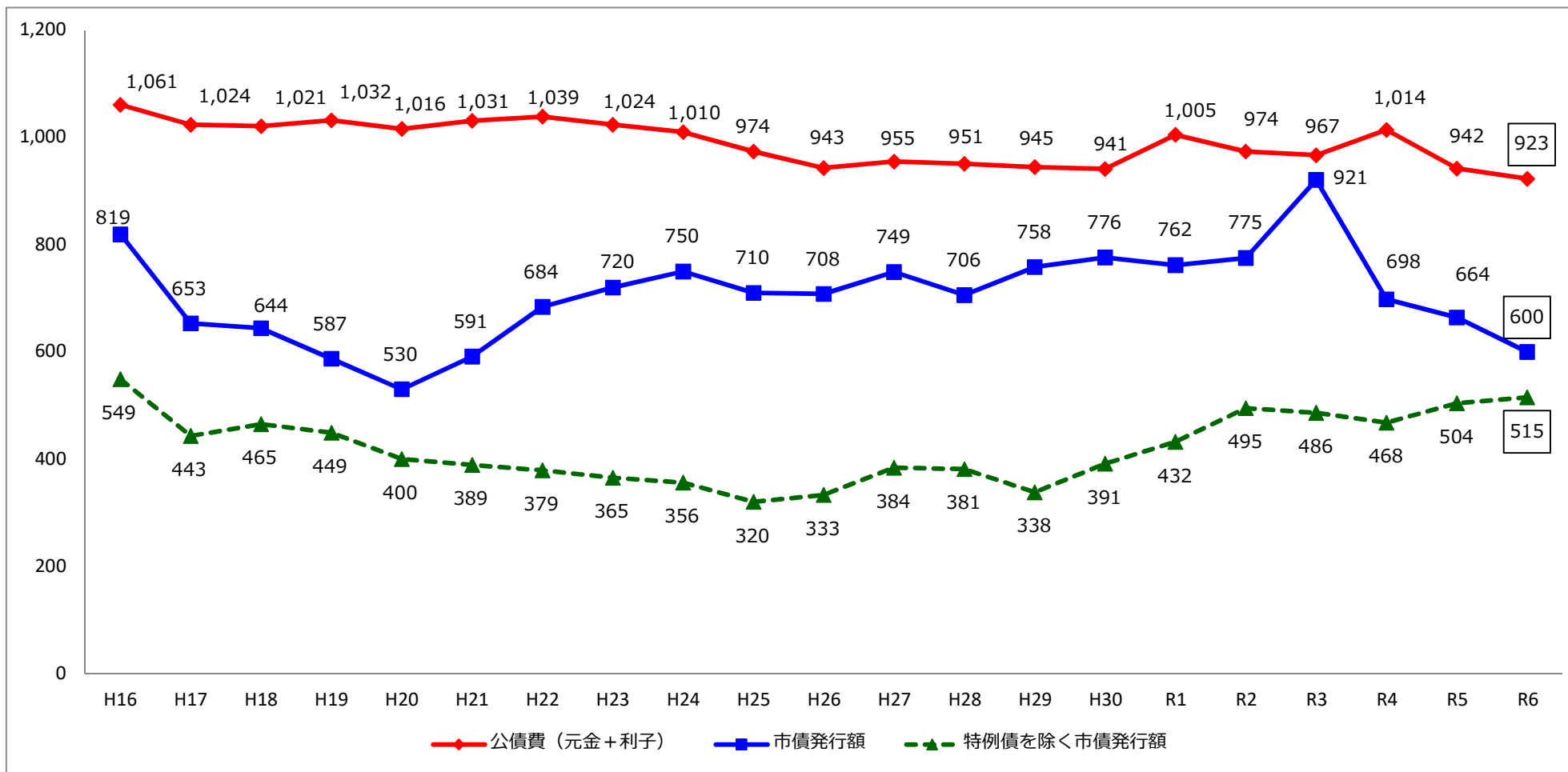
市債残高の割合（令和6年度末見込）



<参考> 市債発行額と公債費の状況（一般会計）

～市債発行額と公債費の推移（当初予算額）～

（単位：億円）



※特例債：後年度に地方交付税措置される特例的に発行が認められた市債（臨時財政対策債、減税補てん債（～H18））

Ⅲ 予算案の姿（概要）

1 予算規模

- ・ 一般会計は、「福岡市型」こども誰でも通園制度の開始などによるこども育成費の増や、教育環境の充実による教育費の増、物価高騰緊急支援給付金の支給などにより、過去最大規模 +3.1%
- ・ 全会計合計は、前年度上回る +3.0%

※以下、詳細は別添資料「令和6年度当初予算案計数資料」参照。億円未満は四捨五入しており合計が一致しない場合がある。

区 分	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
一般会計	1兆498億円	1兆825億円	328 億円	3.1%
特別会計	7,007億円	7,218億円	211 億円	3.0%
企業会計	3,340億円	3,421億円	82 億円	2.4%
合 計	2兆844億円	2兆1,464億円	620 億円	3.0%

2 一般会計の状況

(1) 一般財源の状況 (概要)

項目	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
市税	3,656億円	3,706億円	50 億円	1.4%
個人市民税	1,400億円	1,329億円	▲ 71 億円	▲ 5.0%
法人市民税	368億円	372億円	5 億円	1.2%
固定資産税	1,361億円	1,441億円	80 億円	5.9%
地方譲与税	67億円	67億円	1 億円	0.9%
交付金	552億円	574億円	21 億円	3.9%
法人事業税交付金	48億円	54億円	6 億円	12.9%
地方消費税交付金	429億円	436億円	7 億円	1.6%
地方特例交付金	19億円	110億円	91 億円	475.2%
地方交付税等	525億円	515億円	▲ 10 億円	▲ 1.9%
地方交付税	365億円	430億円	65 億円	17.8%
臨時財政対策債	160億円	85億円	▲ 75 億円	▲ 46.9%
その他	176億円	155億円	▲ 21 億円	▲ 11.9%
合 計	4,995億円	5,127億円	132 億円	2.6%

※ 平成26年度及び令和元年度の消費税率引き上げによる増収分<226億円>は社会保障関係費<3,442億円>に充当

(1) 一般財源の状況 (ポイント)

<総 額> 5,127億円 (+132億円)

<市 税> 3,706億円 (+50億円)

- ・ 個人市民税は納税義務者数等が増加するものの、定額減税の影響により、▲71億円 (▲5.0%)
- ・ 法人市民税は企業収益の改善等により、+5億円 (+1.2%)
- ・ 固定資産税は土地評価額の上昇や新增築家屋の影響等により、+80億円 (+5.9%)

<地方特例交付金> 110億円 (+91億円)

- ・ 定額減税による減収分の補てんにより、+93億円 (皆増)

<地方交付税等> 515億円 (▲10億円)

- ・ 市税収入の増加等に伴い、地方交付税等は減少
(地方交付税+65億円、臨時財政対策債▲75億円)

(2) 性質別歳出の状況 (概要)

項目	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
人件費	1,491億円	1,597億円	106 億円	7.1%
扶助費	2,508億円	2,832億円	324 億円	12.9%
公債費	942億円	923億円	▲ 19 億円	▲ 2.0%
義務的経費 計	4,941億円	5,352億円	411 億円	8.3%
物件費	1,172億円	1,250億円	78 億円	6.6%
補助費等	607億円	515億円	▲ 92 億円	▲ 15.1%
普通建設事業費	932億円	1,028億円	95 億円	10.2%
補助事業費	397億円	303億円	▲ 94 億円	▲ 23.6%
単独事業費	535億円	724億円	189 億円	35.3%
維持補修費	131億円	133億円	2 億円	1.8%
貸付金	1,966億円	1,789億円	▲ 177 億円	▲ 9.0%
繰出金	648億円	686億円	38 億円	5.9%
その他	101億円	72億円	▲ 29 億円	▲ 28.3%
合 計	1兆498億円	1兆825億円	328 億円	3.1%

(2) 性質別歳出の状況（主な増減）

義務的経費 5,352億円（+411億円）

＜人件費＞ 1,597億円（+106億円）

教職員給与等（+47億円）、会計年度任用職員勤勉手当等（+15億円）

＜扶助費＞ 2,832億円（+324億円）

物価高騰緊急支援給付金（+141億円）、児童手当拡充（+37億円）、

就学前児童の教育・保育に係る給付費（+34億円）、障がい児施設給付費等（+30億円）

＜公債費＞ 923億円（▲19億円）

元金の減（▲21億円）

義務的経費以外

＜普通建設事業費＞ 1,028億円（+95億円）

箱崎中学校移転（+85億円）、学校校舎等の改修（+31億円）、

南部療育センターの整備（+22億円）、アイランドシティ地区新設小学校整備の完了（▲42億円）

＜貸付金＞ 1,789億円（▲177億円）

商工金融資金預託金（▲173億円）

(3) 目的別歳出の状況 (概要)

項目	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
総務費	715億円	656億円	▲ 60 億円	▲ 8.3%
こども育成費	1,342億円	1,511億円	169 億円	12.6%
保健福祉費	2,335億円	2,575億円	240 億円	10.3%
環境費	337億円	324億円	▲ 13 億円	▲ 3.9%
経済観光文化費	2,091億円	1,949億円	▲ 142 億円	▲ 6.8%
土木費	451億円	466億円	14 億円	3.1%
都市計画費	477億円	500億円	23 億円	4.8%
港湾空港費	99億円	108億円	9 億円	9.1%
消防費	172億円	164億円	▲ 8 億円	▲ 4.6%
教育費	1,390億円	1,528億円	138 億円	10.0%
公債費	948億円	928億円	▲ 20 億円	▲ 2.1%
その他	139億円	116億円	▲ 23 億円	▲ 16.5%
合計	1兆498億円	1兆825億円	328 億円	3.1%

(3) 目的別歳出の状況 (主な増減)

<こども育成費> 1,511億円 (+169億円)

児童手当拡充 (+40億円)、就学前児童の教育・保育に係る給付費 (+34億円)、
障がい児施設給付費等 (+30億円)、南部療育センターの整備 (+24億円)、
子ども医療 (+12億円)、「福岡市型」こども誰でも通園制度 (+5億円)

<保健福祉費> 2,575億円 (+240億円)

物価高騰緊急支援給付金 (+160億円)、
障がい福祉サービス (在宅・施設・グループホーム等) (+43億円)、
医療・介護関連の繰出金・負担金 (+31億円)
新型コロナウイルス感染症対策 (▲32億円)

<経済観光文化費> 1,949億円 (▲142億円)

商工金融資金預託金 (▲173億円)、
市民会館の再整備 (+21億円)、博物館リニューアル (+13億円)

<教育費> 1,528億円 (+138億円)

箱崎中学校移転 (+85億円)、教職員給与等 (+47億円)、
学校校舎等の改修 (+31億円)、アイランドシティ地区新設小学校整備の完了 (▲42億円)

3 特別会計の状況（概要）

項目	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
後期高齢者医療	222億円	247億円	25億円	11.2%
国民健康保険事業	1,421億円	1,438億円	17億円	1.2%
介護保険事業	1,200億円	1,254億円	54億円	4.5%
集落排水事業	5億円	—	▲5億円	皆減
中央卸売市場	59億円	56億円	▲3億円	▲5.5%
港湾整備事業	148億円	294億円	146億円	98.7%
香椎駅周辺 土地区画整理事業	19億円	8億円	▲11億円	▲58.6%
貝塚駅周辺 土地区画整理事業	13億円	22億円	9億円	65.3%
市債管理	3,881億円	3,860億円	▲21億円	▲0.5%
その他	38億円	39億円	1億円	2.5%
合計	7,007億円	7,218億円	211億円	3.0%

3 特別会計の状況（主な増減）

＜後期高齢者医療＞ 247億円（+25億円）	広域連合納付金（+24億円）
＜国民健康保険事業＞ 1,438億円（+17億円）	保険給付費（+18億円）
＜介護保険事業＞ 1,254億円（+54億円）	保険給付費（+65億円）、地域支援事業費（▲24億円）
＜港湾整備事業＞ 294億円（+146億円）	公債費元金（+141億円）
＜貝塚駅周辺土地区画整理事業＞ 22億円（+9億円）	下水道等工事費（+9億円）
＜市債管理＞ 3,860億円（▲21億円）	公債費の減（▲66億円）、他会計繰出金の増（+45億円）

4 企業会計の状況（概要及び主な増減）

<モーターボート競走事業> 開催収益（▲140億円）、建設改良費（+10億円）

<下水道事業> 企業債償還金（▲32億円）、営業収益（+15億円）

<水道事業> 建設改良費（+16億円）

<高速鉄道事業> 企業債償還金（+107億円）、運輸収益（+58億円）、建設改良費（+41億円）

項目	令和5年度	令和6年度	増減額	伸率
モーターボート競走事業	891億円	760億円	▲131億円	▲14.7%
集落排水事業	—	7億円	7億円	皆増
下水道事業	1,170億円	1,154億円	▲16億円	▲1.3%
水道事業	674億円	690億円	16億円	2.4%
工業用水道事業	9億円	4億円	▲5億円	▲52.3%
高速鉄道事業	595億円	805億円	210億円	35.2%
合計	3,340億円	3,421億円	82億円	2.4%